



令和4年度(第39代)菜の花むすめ

新型コロナウイルス感染症の影響で、メインイベントである菜の花まつりが中止になるなど、登場の機会は少なくなりますが、町観光協会のSNSを活用した情報発信など、三川町や庄内地域のPRにご協力いただきます。



くき えみ
九鬼 江実さん
(酒田市)

ANA SHONAI BLUE Ambassadorとして庄内に移住しています。

神奈川県出身で、一面の菜の花畑など初めての体験ばかりです。県外出身者だからこそ見えてくる町の魅力を発信していきたいと思っています。

まんねん はるか
万年 遥香さん
(酒田市)

生まれも育ちも庄内地域で、庄内たがわ農業協同組合に勤務しています。

四季折々の美しい景色や町民の温かい人情が町の魅力だと思います。来県者が減っている今だからこそ、積極的に町の魅力を発信していきたいです。



菜の花むすめを紹介します

2年ぶりに新しい菜の花むすめが決定しました。
ここでは、菜の花むすめの歴史や活動、今年度の菜の花むすめを紹介します。



菜の花まつりと菜の花むすめの歴史

昭和58年度から始まった「菜の花まつり」は、菜の花鑑賞を目的に、アマチュアカメラマンによる撮影会、小・中学生による写生会、菜の花料理の試食会などが行われました。

その第1回から登場したのが、菜の花むすめです。かすりの着物に赤い前掛け姿の菜の花むすめは、当時、写真撮影会のモデルを務めるとともに、交通安全の呼びかけなどを行いました。

令和2~4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、残念ながら菜の花まつりは中止になりましたが、今でもまつりの華として、多くの方が菜の花むすめを楽しみにしています。



▲初代菜の花むすめ

菜の花むすめ年表

右の表は、菜の花むすめと菜の花まつりの歴史をまとめた年表です。

これまでに、総勢180人を超える菜の花むすめが誕生し、町の魅力を発信していただきました。

※平成23年度、第29回菜の花まつりは、東日本大震災チャリティイベントとして開催



▲交通安全の呼び掛け (昭和59年度) ▲わんこ飯食い競争 (平成2年度) ▲前掛けの文字が「菜の花まつり」から「ハートフルタウンあかわ」に(平成6年度) ▲片岡鶴太郎さんトークショー(平成21年度)

菜の花むすめ年表

年度	菜の花まつり	菜の花むすめ	人数
昭和58	第1回	初代	8人
昭和59	第2回	2代	9人
昭和60	第3回	3代	5人
昭和61	第4回	4代	5人
昭和62	第5回	5代	5人
昭和63	第6回	6代	5人
平成元	第7回	7代	5人
平成2	第8回	8代	4人
平成3	第9回	9代	5人
平成4	第10回	10代	5人
平成5	第11回	11代	5人
平成6	第12回	12代	5人
平成7	第13回	13代	5人
平成8	第14回	14代	5人
平成9	第15回	15代	5人
平成10	第16回	16代	5人
平成11	第17回	17代	5人
平成12	第18回	18代	5人
平成13	第19回	19代	5人
平成14	第20回	20代	5人
平成15	第21回	21代	4人
平成16	第22回	22代	5人
平成17	第23回	23代	5人
平成18	第24回	24代	5人
平成19	第25回	25代	5人
平成20	第26回	26代	5人
平成21	第27回	27代	5人
平成22	第28回	28代	5人
平成23	(第29回)	29代	5人
平成24	第30回	30代	5人
平成25	第31回	31代	3人
平成26	第32回	32代	4人
平成27	第33回	33代	4人
平成28	第34回	34代	4人
平成29	第35回	35代	4人
平成30	第36回	36代	2人
令和元	第37回	37代	5人
令和2	中止	38代	3人
令和3	中止	—	—
令和4	中止	39代	2人

菜の花むすめの活動紹介

菜の花むすめは、菜の花まつりだけではなく、町内外のさまざまな機会に町のPRを行っています。ここでは、活動の一部を写真で紹介いたします。

直近の活動の様子は、町観光協会のホームページや各種SNSをご覧ください。



▲JR東日本「海里」歓迎イベント (写真左: 奥田政行シェフ) ▲新潟県・庄内エリアDCセレモニー (新潟駅)



▲町観光協会ホームページ